

日ごろのお手入れ

トイレはお手入れ次第で清潔さを保ち、長持ちさせることができます。日ごろからこまめにお手入れをしてください。

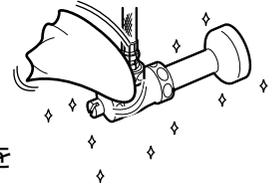
止水栓、レバーハンドル、手洗い金具のお手入れ

●軽い汚れの場合

水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って汚れをふき取ってください。

●ひどい汚れの場合

適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ったあと、水ぶきし、からぶきしてください。



お願い

水栓の表面を傷つけるものは使用しないでください。

- TOTO水あかクリーナー以外の酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
- シンナー、ベンジンなどの溶剤
- クレンザー、磨き粉など、粗い粒子を含んだ洗剤
- ナイロンたわし、たわし、ブラシなど

便器のお手入れ

●軽い汚れの場合

掃除用ブラシやスポンジで水洗いしてください。

●ひどい汚れの場合

1. 汚れがついた部分の水分をふき取る。
2. 『TOTOトイレのクリーナー陶器用』などのトイレ用洗剤を汚れに直接かける。
3. 掃除用ブラシやスポンジでこすり洗いをする。取れにくい場合は割りばしなどを使ってこすり落とす。
4. 最後に水洗いする。



3. ロックナットをモンキーレンチなどでよく締める。

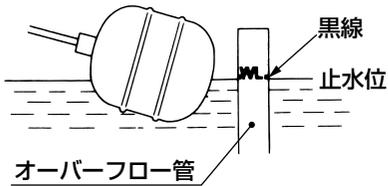
※ロックナットがゆるんでいますと、浮玉が反転して、かえて水位が高く(低く)になってしまう場合があります。

4. 止水栓を開けてタンク内に水がたまったら止水水位の確認をする。

5. 止水水位が合わない場合、再度止水栓を閉めて1~4の作業をくり返す。

6. 黒線に止水水位が合ったら、タンクふたを元に戻す。

※手洗い付きの場合は、P.8の「タンクふたの外し方」を参照し、逆の手順で元に戻してください。



ワンポイントアドバイス

●掃除用の洗剤について

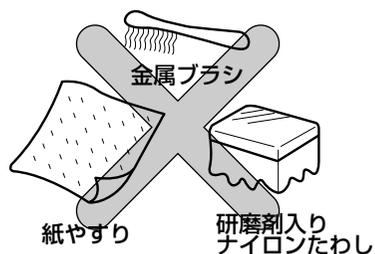
洗剤を使用する際は、下記の表を参考にして、正しい洗剤を使用してください。間違った選択をされますと、傷つき、破損の原因となります。

使用部位	TOTO商品		市販家庭用洗剤			業務用洗剤	
	TOTO水あかクリーナー	TOTOトイレのクリーナー陶器用	酸性	中性 (台所用)	アルカリ性	強酸性	強アルカリ性
止水栓 レバーハンドル 手洗い金具	○	×	×	○	×	×	×
便器	○	○	○	○	○	×	×

■TOTO水あかクリーナー・TOTOトイレのクリーナー陶器用のお求めに関するお問い合わせ先：
「TOTOショールーム」または「TOTOパーツセンター」

●掃除用具について

金属ブラシや研磨剤入りのナイロンたわし、紙やすりなどは表面を傷つけますので使用しないでください。



床のお手入れ

●便器から飛び出した小便や器具について水滴が床に落ちたときは、よく絞ったぞうきんでふき取ってください。

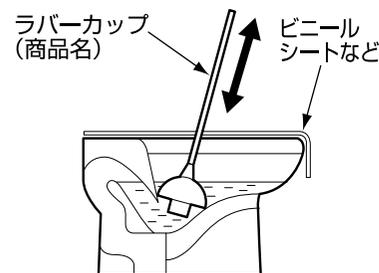
●お掃除の際、床に落ちた洗剤や水もよく絞ったぞうきんでふき取ってください。

⚠ 注意

❗ 床に落ちた小便、水滴、洗剤、水などは必ずよく絞ったぞうきんでふき取る
必ず実行 放置しておくとも床にシミを作ったり、腐らせたりするおそれがあります。



便器の詰まり除去



便器が詰まった場合、市販の吸引器(商品名：ラバーカップなど)で詰まりを除去する。

⚠ 注意

❌ 詰まった状態で水を流さない
水を流すと汚水があふれて、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
禁止

ワンポイントアドバイス

周囲に汚水が散らないよう、ビニールシートで便器を覆うことをおすすめします。

定期的な部品交換のお願い

フロートバルブの交換

補修用性能部品

■THY416R 730円
(税込 767円)

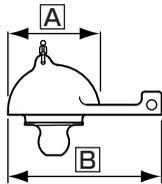
■THY418 860円
(税込 903円)



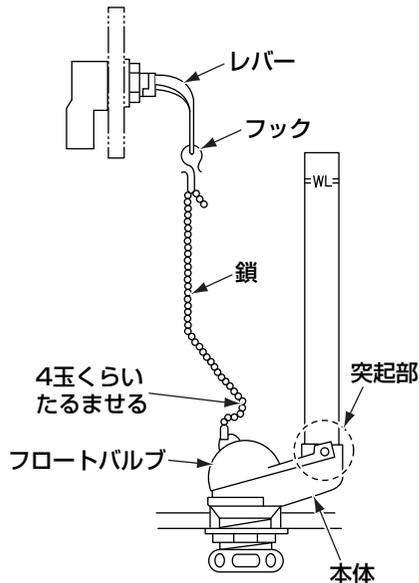
使用商品の見分け方

交換の際は、必ず下記 A B の寸法をご確認のうえ、正しいサイズのプロートバルブを購入してください。

※間違ったサイズを購入されますと、水漏れの原因となります。



品番	単位(mm)	
	A	B
THY416R	60	100
THY418	68	113



1. 止水栓を閉めてからタンク内の水を流す。

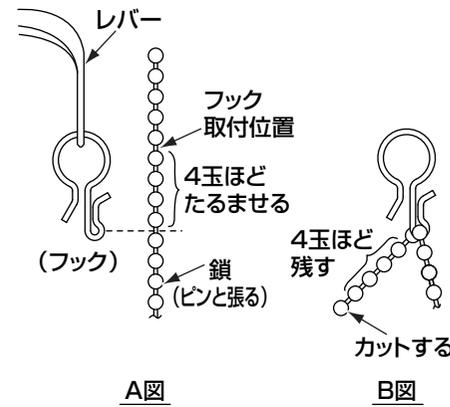
※止水栓の閉め方はP.8の「止水栓の開閉」を参照してください。

2. タンクふたを外す。

※手洗い付きの場合は、P.8の「タンクふたの外し方」を参照してください。

3. フロートバルブを本体突起部より外し、フックをレバーより外す。

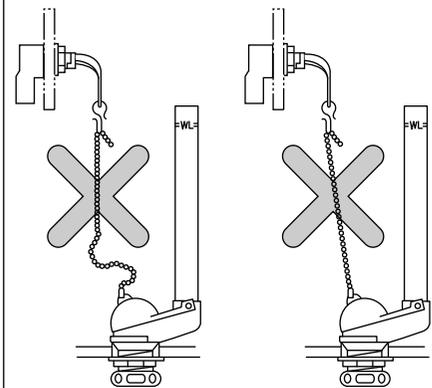
4. 新しいフロートバルブを取り付ける。



悪い例

たるみ過ぎ

張り過ぎ



5. 鎖の長さを調節する。

- ①フックから鎖を外し、フックのみレバーに取り付ける。
- ②鎖をフックに向かってピンと張る。このとき、フロートバルブが浮かないように注意する。
- ③鎖を4玉ほどたるませてフックに取り付ける。(A図参照)
- ④取り付け先端は、4玉ほど残して長い分をベンチなどでカットする。(B図参照)

⚠ 注意

❗ 鎖は正しい長さで取り付ける
鎖がたるみ過ぎたり、張り過ぎたりすると、洗浄不良や止水不良の原因となります。

6. レバーハンドルを数回回し、フロートバルブがスムーズに開閉することを確認する。

(レバーハンドルに「大・小表示」がある場合は、両方向とも回して確認してください。)

7. タンクふたを元に戻す。

※手洗い付きの場合は、P.8の「タンクふたの外し方」を参照し逆の手順で元に戻してください。

8. 止水栓を開きタンクに給水させて水が止まったことを確認する。

※フロートバルブ交換後、下記の不具合が生じるときは、鎖の長さが適切でない可能性がありますので、5の手順を再度行つか、1~2玉ずつ長さ調節を行ってください。それでも直らないときは、修理を依頼してください。

- ・水や汚物が流れない (流れにくい) ➡ 鎖を短くする
- ・水が止まらない ➡ 鎖を長くする